

# 峰のひかり

発行人  
 社会福祉法人 七峰会  
 理事長 奥田 稔  
 〒036-8356  
 青森県弘前市大字下白銀町21-8  
 電話 (0172)33-8861  
 FAX (0172)33-8862

## 年頭にあたり

### 21世紀の私たちは 施設活動開始35周年に当り



新年あけましておめでとうございます。  
 皆様には、お元気で二〇〇九年の新年を御家族お揃いで  
 迎えられた事と存じ、心からお慶び申し上げます。

奥田 稔

当法人が当時の厚生大臣から設立認可を戴き、国・県の財政支援を受けて社会福祉事業の担い手となり、知的障害者更生施設拓光園を整備し、青森県内各地から50人の施設入所利用者を迎えて事業開始したのが74年8月1日でありました。本年は県内外の先輩施設群に仲間入りして仕事を進めて35周年を迎える事が出来ました。時間の経過は全く早いものであります。

70年代は御承知のように「入所施設」を整え、福祉サービスの必要とする方々を迎え入れて集団での生活を組み立てる事に努力した時代でした。そして80年代へ進んだ時に「国際障害者

年」を世界の国々の皆さんに呼応して私たちも運動に参加しました。

国際障害者年は、81年の年で「完全参加と平等」をテーマに種々の取り組みが進められ、米国の友人・東南アジアの友人を弘前にも迎えて活発な交流がもたれました。

国内で、国際交流の成果として福祉施設勤務の職員に対する資格として「社会福祉士・介護福祉士」の制度化が整いました。これは、87年の事で、七峰会でも沢山の職員が試験を受けて社会福祉士・介護福祉士の基礎資格を取得してくれました。此の資格取得の努力は、今日も続いていて職員の皆さんは勉強してくれております。35年間の後半、21世紀を目前にした97年には「介護保険法」が制定されました。障がい者福祉にあつては05年に「障害者自立支援法」が制定されました。法律の内容については色々議論がありますが、本旨は81年国際障害者年とその後の30年間の運動の中で育てられた「自己選択と自己決定」という本人主体の尊重を21世紀の福祉施策の柱とする理想を政策化する方向へ進みました。

当法人も地域の皆さんの要請に応じて仕事を進めるべく仕事の拠点を黒石市にも構築しました。施設活動に始まって今日は地域福祉の担い手として進みたいと覚悟を新たにしております。更なるご支援を賜ります事を願います。





みんなの石けん  
石けん班の活動から

知的障害者  
更生施設

拓光園

拓光園の作業班の一つに、石けん班があります。石けん班は、平成11年、不要になった食用油のリサイクルを目的に誕生しました。

当初は、失敗の連続で、当園の廃油だけでは間に合わず、周辺の施設や病院への協力を仰ぎ、廃油回収を行ったこともありました。純度の高い石けん分を抽出するため、実際にリサイクル石けん作りを見学したり、何度も何度も失敗を重ねながら努力してきました。その結果、現在の真っ白な石けん作りが可能になったわけです。



加工された粉石けんは、毎年、弘前市文化センターでの作品展、土手町でのカルチュアロードや様

々な行事で紹介してきました。そのことがきっかけで、弘前市役所の方から、市民生活課主催の『みんなの消費生活展』へ出品を依頼され、そして、5年間に亘る市民の皆さんへの無料配布につながり、販売するまでになりました(400g 150円)。

一般に、大量生産されている粉石けんとは違い、合成界面活性剤を一切使用せず、鹼化塩析法という手法で作られた地球に優しいこの石けんは、主に、洗濯石けんとして利用されています。環境保全への関心が高まっていることもあってか、反響も大きく、「泥汚れが落ちる」との声も聞かれ、様々なところから問い合わせをいただくまでになりました。現在、実際に商品として、弘前市立桔梗野小学校向かいにある『ギャラリー桔梗野の家』(オーナー:前田千加さん、☎080-5568-2310)に出品させていただいています。石けん班のみんなが作り、地域の皆さんに使っていただきたいという願いが込められ、ネーミングされた『みんなの石けん』、機会があれば、ぜひ手に取り使ってくださいと思います。

ぐ安心下さい  
食の安全

特別養護  
老人ホーム  
サンアップル  
ホーム

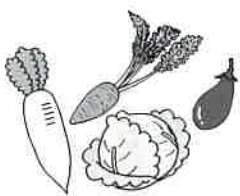
新年明けましておめでとうございます。サンアップルグループより心からお喜び申し上げます。さて、昨年は食の安全について

大きな関心を寄せる報道が多くあつた年だと思われました。中国などからの食材の残留農薬問題、薬物混入問題、食品偽装問題、事故米。買ひ物の際は、原産地を確認し、多少の割高でも国産物を購入される方も少なくありません。社会福祉法人七峰会では、入所利用者・通所利用者等、多くの方が各施設の厨房から提供される食事を摂られています。食品の安心・安全については、当法人の食材購入検討会にて、全ての食材について国産物に変更することを決定し、実行しています。さらに、サンアップルホームでは、冷凍食品等の加工食品についても、使用せず完全手作りの食事の提供を実施しています。

サンアップルホームでは、昨年から弥生地区の一角で野菜作りをしています。サンアップルホーム

職員の手により、土を耕し、畑にし、数種の野菜を植えました。アップルファーム(農園)は1500坪あり、家庭菜園というレベルではなく、農作業するには、なかなかの広さだと思えます。サンアップルグループをご利用くださる皆様に、安心して安全しかも新鮮な食材の提供をしたいとの思いから、取り組んできました。栄養を含んだ土も良かったのでしょう。大根・にんじん・ねぎ等々、大きくて育ちの良い野菜が収穫できました。収穫に応じて、献立の変更もしながら、旬の食材での食事を提供できたと思えます。今は、アップルファームも冬の休園となり、春に向けて土の方も一休みしている状態です。

このように、食については、地場産で安全な食材を使用するよう努力していますので、利用者の皆様・ご家族様、どうかご安心下さい。





### 山郷館グループの 3事業所が移転

身体障害者  
療養施設

山郷館

山郷館キャンパス、山郷館訪問介護センター黒石、山郷館くろいし日中一時支援事業所の3事業がそれぞれ黒石市大字甲大工町2番地2(旧 黒石保健所)の山郷館総合支援センター黒石へ10月20日より移転しました。

山郷館総合支援センター黒石は、黒石市を中心とした在宅障がい者(児)福祉サービスの拠点と位置付け、相談支援から日中活動までを総合的に行うセンターです。これまで以上に地域に密着し、積極的に活動をスタートさせています。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

#### ①山郷館キャンパス

(地域活動支援センターII型)

#### ②山郷館訪問介護センター黒石

(居宅介護・行動援護)

(旧住所)

黒石市大字緑町4丁目131

(新住所)

黒石市大字甲大工町2番地2  
※町内の皆様には、たいへんお世話になり、ありがとうございます。

旧山郷館キャンパスの住宅は、12月1日より『グループホーム 緑町住宅』として利用がスタートしています。

#### ③山郷館日中一時支援事業所

(旧住所)

黒石市八甲64-1

(新住所)

黒石市大字甲大工町2番地2  
山郷館総合支援センター黒石では、移転した3事業の他に次の事業を行っています。

#### □山郷館サポートセンターくろい

し(相談支援事業所・地域活動支援センターI型)黒石市委託)

#### □山郷館デイサービスセンター黒石

(生活介護事業・就労継続支援事業B型)

※いつでもセンター見学ができます。お気軽にお立ち寄り下さい。

#### 山郷館総合支援センター黒石

(代表) TEL 0172-88-5018



### おいしいお米は いかがですか?

身体障害者  
授産施設

旭光園

旭光園では、今年度新たな授産作業として、二つの作業に取り組んでいます。一つは、『峰のひかり 第58号』でお伝えした納豆製造です。そしてもう一つは、精米作業です。自分達が食べるお米を自分達で調達・精米してみたいとの考えからスタートしました。業者の方から、米の選別・精米の方法・保管の仕方など指導を受け、準備してきました。現在では、法人内各施設の他、利用者のご家族・職員宅などに販売しています。



旭光園米のセールスポイントは、平川市・田舎館村・黒石市の地元産を使っている点です。4月より作業を開始してきましたが、今では、「安くて、おいしい!」という声が増えつつありますが注文数が増えています。

旭光園の『おいしいお米』と『納豆』で、朝食は、『熱っツまんに納豆』で決まり!  
一度、ご賞味下さい。

販売価格は(税込)

5kg 1,600円

10kg 2,800円



新作業場が

でキタキツ!

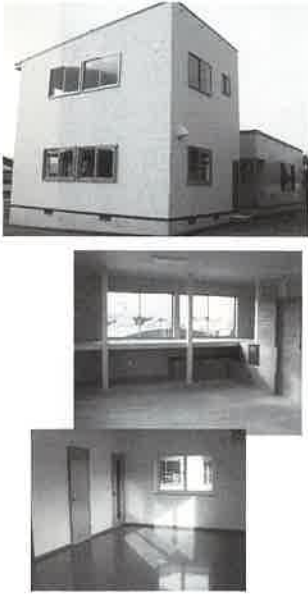
知的障害者  
通勤寮  
拓心館

「ちよつとゴメン」「ちよつとスママセン」  
。エイブルの皆は、日常的によく謝って  
ました。というのも、平成17年1月に、定員  
15名として開所したエイブルが、現在では倍  
の32名が利用され、必然的にスペースが狭く  
なってしまい、思うように動きがとれない状  
態だったのです。

平成18年10月に障害者自立支援法が施行さ  
れ、「三障害の一元化」が謳われてから、身体  
の不自由な方も利用できることとなりました。  
そこで今年度、作業場の建築工事を行い、

作業スペースを分散することでゆったりとし  
た空間を作れることを計画、ついにこの11月25  
日に竣工をみました。新作業場は、同じ敷地  
内でパン工場の隣に建ち、初の2階建てです。

新作業場がでキタキツことで、より受け入  
れ態勢が整ったと考えています。さらに、一  
人ひとりの適性に即した作業を提供するた  
め、その種類を増やすことも計画しています。  
利用して下さる方が倍に増えたことに感  
謝しつつ誇りとし、これからも「利用したい、  
通いたい場所」であるよう、気持ちを引き締  
めて進展したいと思っています。



いわせて  
ネット

新作業所について

エイブル利用者代表 小枝 雅史

『エイブル』より再び、感  
動と共に改めまして、毎週  
水曜日にお出しになられて  
いらっしやいますパン作り  
の工場、又は左側にござ  
いますのがつい最近新しく今  
年出来たばかりの建築がみ  
ごとに製作いたしました新  
作業所でございます。

『エイブル』の中は、幅か  
らにして歩き方にはご不満  
や、所どころ狭い場面もご  
ざいますが、新作業所は資  
材の置き場所もございます  
し、自分自身なりといたし  
まして一般企業への就職  
のことも目指し、『エイブ  
ル』ならではの一同果物に  
お使いいただいているポリ  
マー（果物ネット）作りの  
品をおこなっておりますが、  
様々と問題を起こしては一  
苦勞も重ね続けながらも、  
そこをふんばり悔い残らぬ

よう心掛け、一頑張りして  
気持ちを一つに心も歪むこ  
となく引き締め、テンショ  
ン、製品の能率、良品を努  
力しております。そのと  
ころもご理解の程の面にし  
ても、仕事しやすい場所  
でもありますので、さらに頑  
張ってまいりますところ  
です。

全国、全国各地の皆様方、  
足をお運びいただけよう  
ご協力・手助け次第を尽く  
し一頑張りしていきますの  
で心配ごととか何かござい  
ましたら、一言、一声お  
かけいただけたら事務職員よ  
りご相談に乗っていただけ  
るかと思っておりますので、お  
気軽には是非一度お越しいた  
けたら光栄です。  
どうか宜しくお願い申し  
上げます。

総合支援	障害者支援		特別養護老人ホーム	居宅介護支援事業
	(主に知的)	(主に身体)		
青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター 弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター 弘前市北部地域包括支援センター TEL 95-21100	拓心館 グループホーム・ケアホーム12ヶ所 生活自立訓練事業 就労サポートひろさき園 生活介護・就労継続支援B型エイブル TEL 96-23331	山郷館 山郷館 身体障害者(児)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館デイサービスセンター弘前 山郷館デイサービスセンターくればん 山郷館地域活動支援センターくればん 山郷館訪問介護センター 山郷館総合支援センター黒石 TEL 57-5155 通所他障害者利用事業 旭光園 旭光園身体障害者短期入所事業 福祉ホームさわら	サポートセンターわかば 弘前市大字若葉2丁目15 TEL 37-11165 認知症グループホームわかば デイサービスセンターわかば サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-21131	山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941 サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131 サンアップルホームヘルプセンター TEL 95-3758 認知症グループホームアップル TEL 97-27778 認知症デイサービスセンターじよい TEL 97-2013